

防空

北九州市平和のまちミュージアム企画展

防空先進都市・北九州

空襲に備えたまち

2025 10/25^土

2026 1/25^日

休館日

月曜日（祝・休日の場合は翌平日）、年末年始

開催場所

北九州市平和のまちミュージアム
企画展示室

大正3(1914)年から約4年間戦われた第一次世界大戦は、国家が政治、経済、文化、福祉などを全て戦争へ注ぎ込む、「総力戦」という戦争形態をとりました。その中で生まれたのが、総力戦を戦うための設備、あるいは総力戦に従事する人々の戦意を低下させるために行われる、「空襲」という作戦です。

日本でも、昭和の初めごろから、空襲対策、すなわち「防空」の取り組みが行われ始めました。なかでも北九州は、都市と工場が集中しており、地形的にも大陸が近いため、空襲を受けやすいと考えられていました。

防空は、軍によって行われる「軍防空」と、軍以外の人々や団体によって行われる「国民防空(民防空)」とに分けられます。特に後者では、国民が積極的に参加することが求められ、人々の生活は防空の考え方に沿って、変化していったのです。

本企画展では、北九州における防空の取り組みがどのように行われていったのか、市民はそれにどのように参加していったのかを紹介します。北九州地域に「空襲」がどのような影響を与えたのかを考えていただきたいと思います。

■ 同時開催

パネル展示「^{いま}焼け跡と現在 ～写真で見る北九州空襲～」

期間：2025年10月25日(土)～2026年1月25日(日)

会場：北九州市平和のまちミュージアム 多目的ホール

協力：聞き書きボランティア「平野塾」、工藤洋三氏(空襲・戦災を記録する会 事務局長)



■ 関連イベント

●特別講演会「北九州は空襲にどのように備えたのか」

北九州市平和のまちミュージアム 学芸員 小倉徳彦

「国民防空と北九州(仮)」

北九州市の文化財を守る会 理事長 前園廣幸氏

「北九州地域の軍防空(仮)」

日時：2025年12月14日(日) 13:30～15:30(予定)

場所：北九州市立子ども図書館2階 大研修室(小倉北区内4-1)

定員：60名(無料、要申込)

●ギャラリートーク

日時：2025年11月16日(日)、2026年1月11日(日)

いずれも14時～(30分程度)

場所：北九州市平和のまちミュージアム 企画展示室



北九州市平和のまちミュージアム

Kitakyushu City Museum of Peace

住所／〒803-0813 小倉北区内4番10号

T E L／093-592-9300

U R L／<https://www.kitakyushu-peacemuseum.jp>

開館時間／9時30分～18時(入館は17時30分まで)

休館日／月曜日(祝日の場合は次の平日)、年末年始

入館料／

区 分	料金区分		
	一 般	中学生・高校生	小学生
個 人	200 円	100 円	50 円
団体(30名以上)	160 円	80 円	40 円

団体は、有料のお客さま30名以上です。

— アクセス —

〈JRをご利用の方〉

JR「西小倉駅」下車徒歩約10分

〈バスをご利用の方〉

西鉄バス「市立中央図書館・文学館前」下車徒歩約1分

〈車をご利用の方〉

北九州都市高速道路「勝山IC」より車で約2分

※当館専用の駐車場はございません。隣接する

市営駐車場をご利用ください。



北九州市平和のまちミュージアム

ホームページはこちらから▶

北九州市平和のまちミュージアム 公式アカウント

LINE 公式アカウント

LINEお友だち登録はこちらから▶

北九州市平和のまちミュージアム 公式アカウント

エックス公式アカウント

Xはこちらから▶